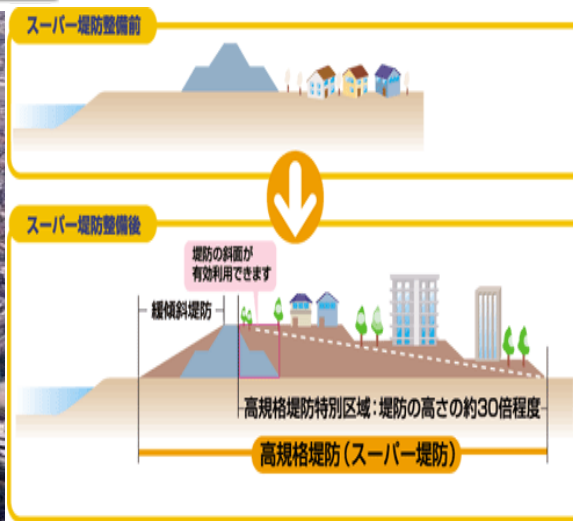
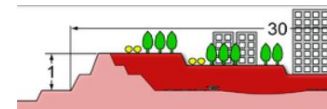


整備前



整備後



大洪水が起こると

●洪水が堤防を超える恐れあり。



●水が堤防内を浸透して堤防が壊れる恐れあり。

●スーパー堤防を整備すると、堤防幅が大きく広がり、越水や浸透を防止するとともに、地震にも強い堤防となり、安全・安心なまちづくりができます。



撮影日：平成16年10月

撮影日：平成4年2月

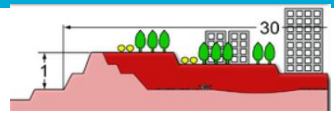
【大阪府】大阪市此花区西島地区

スーパー堤防事業

整備前



整備後



堤防幅が大きく広がり、越水や浸透を防止するとともに、地震にも強い堤防となり、安全・安心なまちづくりができます。



撮影日：平成13年3月



撮影日：平成5年5月

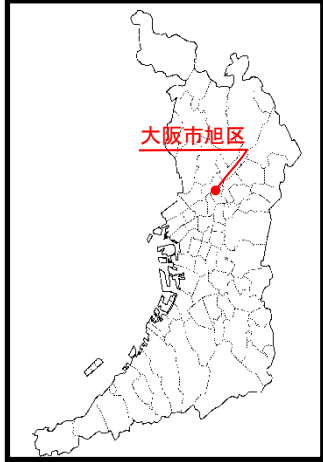


撮影日：平成29年8月

【大阪府】大阪市旭区(城北ワンド)

不法耕作地をワンドに再生

- ◆ワンドは、国の天然記念物イタセンパラなど淡水生物が生息する水たまりのこと。魚の産卵や成育の場であり、増水した時には魚の避難場所にもなります。
- ◆2000年代に入って、外来魚が増加したことでイタセンパラなどの在来魚などが減少。このため、在来魚の生息環境を復活させる事業としてワンドを整備しています。



整備前

不法に耕作地として使用中の中洲



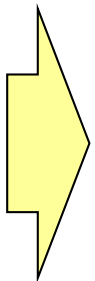
平成13年1月撮影

整備後

不法耕作地をワンドに再生し、水生生物の生息環境を改善



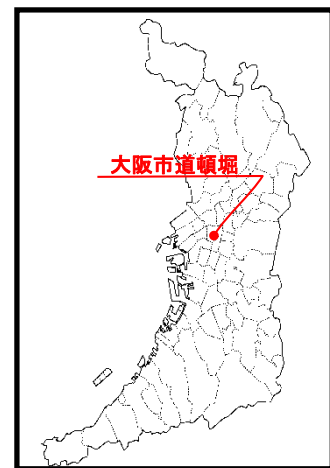
平成15年6月撮影



【大阪府】大阪市道頓堀川

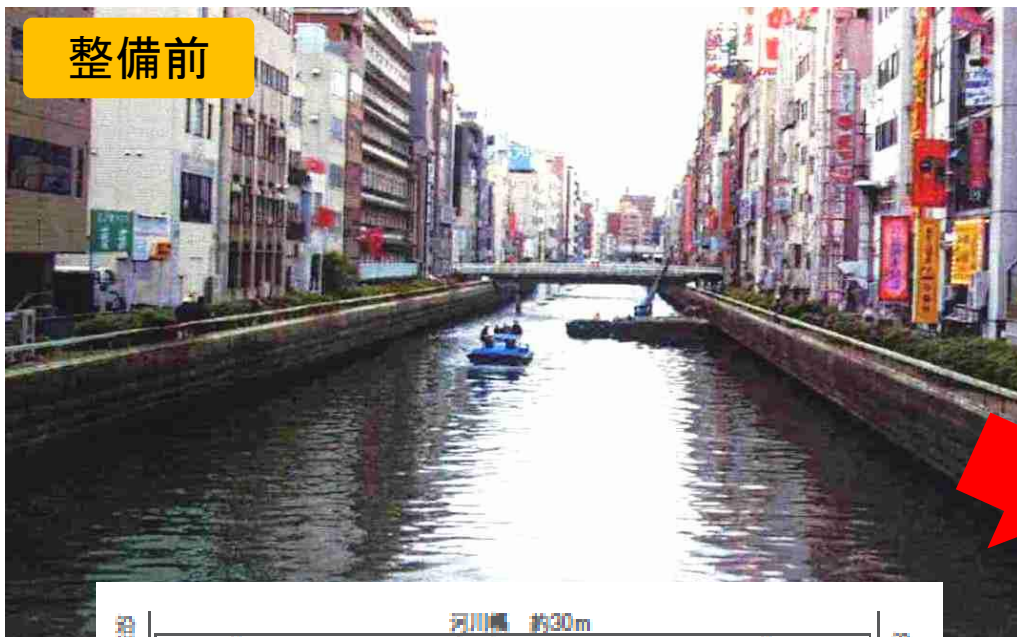
道頓堀川の水辺整備

- 道頓堀川は、大阪を代表する河川であり、都心南部に残された貴重な水辺空間でもあります。しかし、治水対策のために護岸が嵩上げされたことや、水質の汚濁などによって、道頓堀川は、まちと隔たった存在となっていました。
- こうした状況から、「水の都・大阪」の再生に向け、人々が集まり、歩きやすい遊歩道を整備し、潤いのある新鮮な空間をつくり、都市の魅力を向上させるために、道頓堀川の水辺が整備されました。

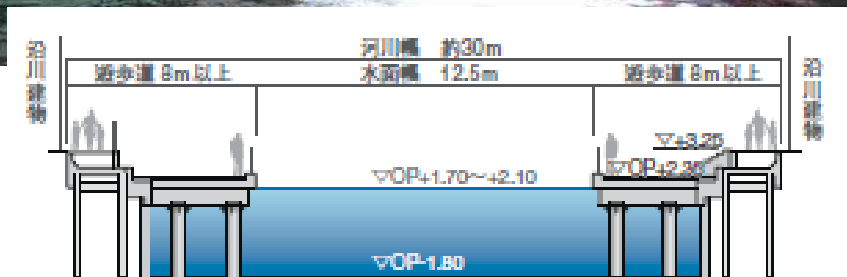


沿川の建物から遊歩道へ直接出られるようになり、親水性の高い憩いの空間に生まれ変わりました。

整備前



整備後

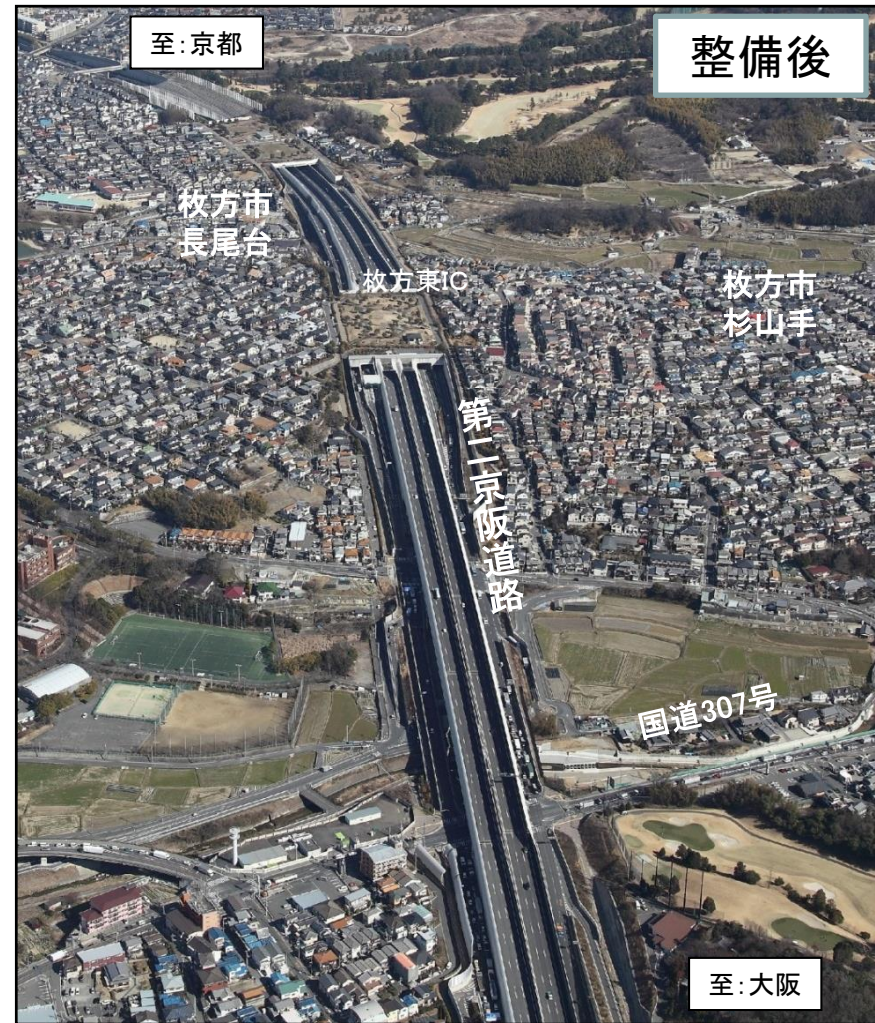
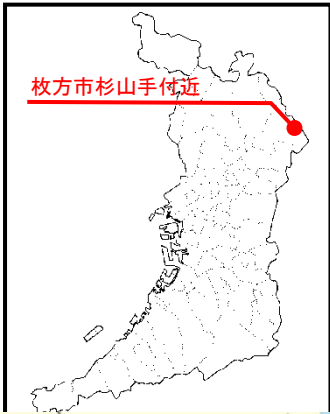


遊歩道(戎橋～太左衛門橋間)断面図

第二京阪道路の整備

【大阪府】枚方市杉山手付近

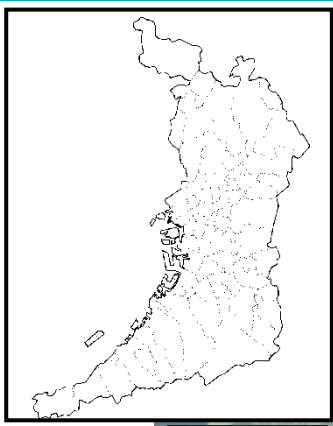
- ◆第二京阪道路は、国道1号の慢性的な渋滞の解消を目的として計画された自動車専用道路(京都と大阪を結ぶ延長約28km)です。平成22年3月に全線開通されました。
- ◆開通後、慢性的な交通渋滞は大幅に緩和され、沿線自治体の人口も増加しつつあります。



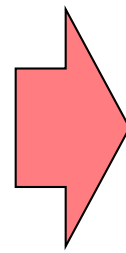
昭和61年8月撮影

平成27年2月撮影

◆第二阪和道路の開通後、箱ノ浦ランプ周辺では開発が進展し、人口が大幅に増加しています。



昭和61年8月撮影



平成27年2月撮影

【大阪府】 御堂筋の違法駐輪の解消



◆御堂筋では、歩道上への放置自転車が歩行者の移動を阻害する状態にありましたが、関係機関、団体の協働による広報啓発・街頭指導・放置自転車の撤去などの活動により、違法駐輪が解消され、円滑に歩行できるようになりました。



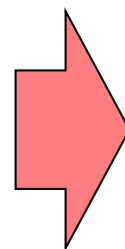
(1) **広報啓発**: ポスターの掲示、啓発品の配布、放置自転車クリーンキャンペーン、スポット放送の有効活用

(2) **街頭指導**: 自転車利用者への街頭指導、自転車駐車場への誘導自転車駐車場マップ等の作成、配布

(3) **放置自転車の撤去**: 放置禁止区域の指定、放置自転車の集中的な撤去



平成16年4月撮影



平成29年10月撮影